

第 82 回国民スポーツ大会・
第 27 回全国障害者スポーツ大会
長野県準備委員会

第 6 回競技運営専門委員会



第82回国民スポーツ大会・
第27回全国障害者スポーツ大会
マスコットキャラクター
長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

令和5年12月18日（月）

長野県スポーツ会館2階会議室・オンライン会議
併用開催

競技運営専門委員会 委員

(委員は順不同、敬称略)

職 名	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
委員 長	沼澤 由憲	長野県教育委員会事務局スポーツ課 課長
副委員長	茅野 繁巳	公益財団法人長野県スポーツ協会 専務理事
委 員	青柳 智之	一般財団法人長野陸上競技協会 常務理事
"	柄澤 秀樹	一般社団法人長野県水泳連盟 理事長
"	下条 夫美子	一般社団法人長野県サッカー協会 専務理事
"	唐澤 稔	長野県ソフトボール協会 理事長
"	奥原 明男	長野車椅子バスケットボール協会 会長
"	櫻井 伸一	公益財団法人長野市スポーツ協会 専務理事
"	宮下 省二	長野県スポーツ少年団 本部長
"	永原 龍一	公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会 常務理事
"	小崎 陽一郎	長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 幹事長
"	竹中 雅幸	長野県レクリエーション協会 会長
"	秋山 昇	長野県中学校体育連盟 会長
"	桑原 俊樹	長野県高等学校体育連盟 会長
"	滝澤 嘉紀	長野県市長会 事務局次長
"	北澤 良和	長野県町村会 事務局次長
"	田中 英児	長野県企画振興部地域振興課 課長
"	藤木 秀明	長野県健康福祉部障がい者支援課 課長
"	若林 憲彦	長野県観光部観光誘客課 課長

計19名

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会
長野県準備委員会 第6回競技運営専門委員会 次第

日時：令和5年12月18日（月）10:00～11:00

場所：長野県スポーツ会館 2階会議室

※オンライン会議併用

1 開会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- (1) 委員の変更について
- (2) 準備委員会における決定事項について
- (3) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催地の内定について
- (4) 第82回国民スポーツ大会 競技役員等の養成状況について

4 審議事項

- (1) 第82回国民スポーツ大会 デモンストラーションスポーツ実施競技及び会場地市町村第1次選定（案）について
- (2) 第82回国民スポーツ大会 記録業務基本方針（案）について
- (3) 第82回国民スポーツ大会 競技別リハーサル大会開催基準要項（案）について
- (4) 第27回全国障害者スポーツ大会 審判員養成計画（案）について
- (5) 第27回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針（案）について

5 その他

6 閉会

報告事項

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会
競技運営専門委員会 委員の変更について

(敬称略)

職 名	新 任 者	旧 任 者	所 属 ・ 役 職 等
委 員	柄澤 秀樹	篠原 邦彦	一般社団法人長野県水泳連盟 理事長

準備委員会における決定事項について

会議・開催日	決定事項	所掌専門委員会					
		総務 企画	競技 運営	広報 県民	宿泊 衛生	輸送 交通	式典 会場
第 10 回常任委員会 令和 5 年 5 月 31 日 オンライン会議	第 82 回国民スポーツ大会・ 第 27 回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想	○					
	第 82 回国民スポーツ大会 種別の変更	○					
	第 82 回国民スポーツ大会 公開競技会場地市町村第 1 次選 定	○					
	第 82 回国民スポーツ大会・ 第 27 回全国障害者スポーツ大会 長野県準備委員会専門委員会規 程の改正						
第 7 回総会 令和 5 年 5 月 31 日 オンライン会議	令和 4 年度事業報告						
	令和 4 年度収支決算						
	令和 5 年度事業計画						
	令和 5 年度収支予算						
	令和 5 年度暫定収支予算（会長 専決処分）						

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想【概要版】

開催基本構想の策定にあたって

- 令和10年に、第82回国民スポーツ大会と第27回全国障害者スポーツ大会を長野県で開催
- 大会を意義あるものとするため、準備（実行）委員会をはじめ、構成団体や大会に関わる様々な人が、大会の目標を共有し、その実現のため、開催に向けた取組や開催支援を活用した取組を進めていく必要
- 開催基本構想は、開催基本方針に基づき、実施目標の実現に向けた取組の方向性を明らかにするもの
- 準備（実行）委員会では、専門委員会などにおいて、構想を詰まえた方針や計画、取組を具現化

国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会について

- 国民スポーツ大会とは
 - 毎年開催される国内最大の国民スポーツの祭典
 - 全国障害者スポーツ大会とは
 - 毎年開催される障がい者スポーツの全国的な祭典
- 長野県における大会開催の意義
 - 県民に夢や希望を与え、スポーツに親しむ環境づくりや健康増進、地域の魅力向上につながる
 - 障がいに対する理解を深める機会が生まれ、障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくりにつながる
 - 人々の交流の輪が広がるとともに、本県の魅力発信、観光や経済活動への効果波及が期待される

基本方針	実施目標	取組推進にあたっての共通視点	取組の方向	主な取組
「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現	1 スポーツで長野県を元気にする大会	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGsを意識した取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツによる健康長寿世界一 信州の実現 ● スポーツが旅の目的となる 観光地・地域づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフステージに応じたスポーツ活動の促進 ● 家庭や職場で簡単にできるスポーツの普及 ● 県内各地におけるスポーツ大会や合宿の誘致促進 ● 大会の競技会場開催地のスポーツの「聖地」化
	2 スポーツの振興を支える好循環を創出する大会	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼロカーボンの推進 ○大会運営のDX 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で育む未来のアスリート ● アスリートの人材確保 ● 障がい者スポーツ選手の発掘及び育成 ● スポーツを支える人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少年選手の計画的な発掘及び育成・強化 ● 県内で活動するプロスポーツ選手やトップアスリートとの交流機会の確保 ● 「長野県競技力向上対策本部」を中心とした取組の推進 ● 選手の県内就職や競技活動を継続できる環境づくり ● 選手をはじめ、指導者・スタッフの発掘及び育成 ● 全国大会や国際大会への出場を視野に入れた選手の育成・強化 ● 指導者の育成・確保や競技役員等の養成、活躍の場の拡大及び充実 ● スポーツボランティアの育成や活動支援
	3 スポーツで共生社会づくりを加速する大会	<ul style="list-style-type: none"> ○公正さや多様性・包摂性を踏まえた取組の推進 ○信州の強みや地域の個性の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国スポ・全障スポの一体的な開催 ● 障がい者スポーツと一般スポーツの融合の推進 ● スポーツで多様性を尊重する 共生社会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 両大会の開催準備や運営の一体的な推進 ● ハリアアリーやユニバーサルデザインに配慮した大会運営 ● 障がい者スポーツの普及と、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむ環境づくり ● オリンピック・パラリンピック代表選手との交流機会の確保 ● 障がいの有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、県民が気軽にスポーツに参加できる機会や方策の拡大 ● 障がい者スポーツの紹介や魅力発信
	4 スポーツの環境づくりを推進する大会	<ul style="list-style-type: none"> ○長野冬季オリ・パラのレガシーを活かし、未来へつなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ● いつでも、どこでもスポーツに 取り組める環境づくり ● 開催地実施競技種目の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県民が広く参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催 ● 大会開催に必要な競技施設や競技用具の整備などを通じたスポーツ環境の充実 ● 大会の競技会場開催地における選手育成やトップアスリートとの交流機会の確保 ● 大会の競技会場開催地における定期的な競技会の開催
	5 スポーツが長野県のファンを増やす大会	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心・持続可能な大会運営 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県民参加のおもてなし ● 大会を通じた長野県の魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの県民が様々な形で自発的に参加する、大会の県民運動の展開 ● 障がいの有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、大会に参加する誰もが満足できる温かいおもてなし ● 地域資源を活用したおもてなし ● 競技観戦以外にも楽しめる文化プログラムの展開

第82回国民スポーツ大会 種別の変更

第 82 回国民スポーツ大会 種別を、次のとおり変更する。

競技・種目名	種別		市町村名	開催予定施設
	変更前	変更後		
バレーボール・6人制	少年男子	成年男子	大町市	大町市運動公園総合体育館
	少年女子	成年女子	安曇野市	安曇野市総合体育館 (ANCアリーナ)
	成年男子 成年女子	少年男子 少年女子	松本市	松本市総合体育館

(変更理由)

中央競技団体正規視察の結果を踏まえ、競技運営の円滑化のため各会場施設の規模等を精査した結果、各会場施設における種別を変更する必要性が生じたため。

第 82 回国民スポーツ大会 公開競技 会場地市町村第 1 次選定

No.	競技名	種別	市町村名	開催予定施設
1	綱引	全種別	岡谷市	岡谷市民総合体育館 (スワンドーム)
2	武術太極拳	全種別	佐久市	長野県立武道館
3	パワーリフティング	全種別	白馬村	白馬村多目的研修集会施設
4	バウンドテニス	全種別	軽井沢町	軽井沢風越公園総合体育館
5	スポーツチャンバラ	全種別	山ノ内町	山ノ内町立山ノ内中学校体育館
6	ダンススポーツ	全種別	安曇野市	安曇野市総合体育館 (ANCアリーナ)

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会
長野県準備委員会専門委員会規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会会則第13条第 3 項の規定に基づき、専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の名称等)

第 2 条 委員会の名称並びに常任委員会からの付託事項及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第 3 条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1 名

(2) 副委員長 1 名

2 委員長及び副委員長は、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(部会)

第 5 条 委員会は、運営上必要があるときは、部会を設けることができる。

2 部会の委員は、会長が委嘱する。

3 部会に関する事項は、委員長が定める。

(委任)

第 6 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成29年12月20日から施行する。

この規程は、平成30年11月 9 日から施行する。

この規程は、令和 2 年12月18日から施行する。

この規程は、令和 4 年 5 月 31 日から施行する。

この規程は、令和 5 年 2 月 8 日から施行する。

この規程は、令和 5 年 5 月 31 日から施行する。

別表（第2条関係）

委員会名	付託事項	委任事項
<p>総務企画 専門委員会</p>	<p>1 総合的な計画の立案に関する こと。 2 競技会場地市町村及び競技施設 の選定に関すること（<u>デモンスト レーションスポーツ及びオープン 競技を除く</u>）。 3 総合開・閉会式会場の選定に関 すること。 4 県及び競技会場地市町村の業務 分担・経費負担方針に関するこ と。 5 競技施設の整備計画に関するこ と。 6 他の専門委員会に属さない重要 な事項に関すること。</p>	<p>1 総合的な計画の推進に関するこ と。 2 文化プログラムに関すること。 3 他の専門委員会に属さない事項に関 すること。</p>
<p>競技運営 専門委員会</p>	<p>1 競技運営等基本的事項に関する こと。 2 競技運営に係る計画の立案に関 すること。 3 競技用具の整備計画に関するこ と。 4 <u>デモンストレーションスポーツ 及びオープン競技の実施競技、競 技会場地市町村及び競技施設の選 定に関すること。</u> 5 その他競技運営に係る重要な事 項に関すること。</p>	<p>1 競技運営に係る計画の推進に関するこ と。 2 大会実施競技に関すること。 3 競技役員等の養成及び編成に関するこ と。 4 競技用具整備の推進に関すること。 5 競技記録に関すること。 6 リハーサル大会に関すること。 7 その他競技運営に関すること。</p>
<p>広報・県民 運動専門委 員会</p>	<p>1 広報の基本的事項に関するこ と。 2 県民運動の基本的事項に関する こと。 3 その他広報及び県民運動に係る 重要な事項に関すること。</p>	<p>1 広報及び啓発の実施に関すること。 2 県民運動の推進に関すること。 3 愛称・スローガン、マスコット等に関 すること。 4 報道機関との調整に関すること。 5 記録映像及び記録写真に関すること。 6 その他広報及び県民運動に関するこ と。</p>

<p>宿泊・衛生 専門委員会</p>	<p>1 宿泊の基本的事項に関する こと。 2 医事・衛生の基本的事項に 関すること。 3 その他宿泊及び医事・衛生に 係る重要な事項に関する こと。</p>	<p>1 宿泊業務に関する こと。 2 標準献立及び食品調達に 関すること。 3 医療救護及び防疫に 関すること。 4 食品衛生及び環境衛生に 関すること。 5 その他宿泊及び医事・衛生 に関する こと。</p>
<p>輸送・交通 専門委員会</p>	<p>1 輸送及び交通の基本的事項に 関すること。 2 その他輸送及び交通に係る 重要な事項に関する こと。</p>	<p>1 全国輸送に関する こと。 2 開・閉会式等の輸送に 関すること。 3 競技会場地の輸送に 関すること。 4 その他輸送及び交通に 関すること。</p>
<p>式典・会場 専門委員会</p>	<p>1 式典及び開・閉会式等の会場の 基本的事項に関する こと。 2 その他式典に係る重要な 事項に関する こと。</p>	<p>1 開・閉会式等の企画及び 運営に関する こと。 2 式典音楽に関する こと。 3 式典演技に関する こと。 4 大会旗・炬火リレーに 関すること。 5 開・閉会式等の会場の 管理に関する こと。 6 その他式典に関する こと。</p>

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 開催地の内定について

1 概要

令和 10 年の第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会・本大会）について、令和 5 年 6 月 1 日付けで、（公財）日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣あてに「開催申請書」を提出した。

この申請に基づき、令和 5 年 7 月 20 日の（公財）日本スポーツ協会理事会において、長野県が、令和 10 年開催の第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会・本大会）の開催地として内定された。

また、第 82 回国民スポーツ大会の内定により、同年の第 27 回全国障害者スポーツ大会の開催地としても内定となった。

2 大会開催までの主なスケジュール（開催手続関係）

年 月		内 容
平成 29 年	7 月	開催地として内々定
令和 5 年	7 月	開催地として内定
令和 7 年		（公財）日本スポーツ協会及びスポーツ庁による 総合視察
		開催地として決定
令和 10 年		第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会・本大会）及び 第 27 回全国障害者スポーツ大会の開催

【参考】

（公財）日本スポーツ協会「国民体育大会開催基準要項」（抜粋）

14 大会開催の申請

- (1) 開催申請書提出順序了解県は、都道府県体協会会長、都道府県知事及び教育委員会教育長が連署の上、日本スポーツ協会会長及び文部科学大臣宛に開催申請書を提出するものとする。

～（中略）～

15 大会開催地の内定及び決定

- (1) 日本スポーツ協会は、前項の申請に基づいて調査審議の上、文部科学省と協議し、原則として大会開催年の 5 年前の年の 9 月末日までに大会開催地を内定する。

（公財）日本パラスポーツ協会「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」（抜粋）

16. 大会開催地の内定及び決定

大会の開催地については、国民体育大会開催基準要項に規定する国民体育大会の開催地の内定及び決定の時をもって、それぞれ内定及び決定をしたものとみなす。

第5回 JSP0 国スポ発第37号
5ス庁第756号

国民スポーツ大会開催内定書

長野県知事 阿部 守一 様

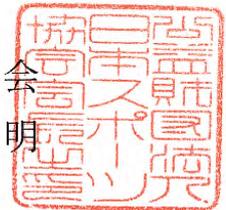
長野県教育委員会
教育長 内堀 繁利 様

公益財団法人 長野県スポーツ協会
会長 阿部 守一 様

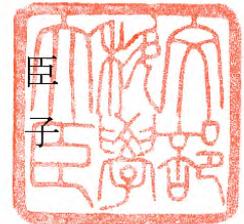
令和10年開催の第82回国民スポーツ大会冬季大会・本大会の開催地として貴県を内定いたします。

令和5年7月20日

公益財団法人 日本スポーツ協会
会長 遠藤 利明



文部科学大臣
永岡 桂



第82回国民スポーツ大会 競技役員等の養成状況について

1 競技役員等養成計画(令和5年度版)

(1)第82回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成目標数

(単位:人)

No.	内訳 競技名	競技役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内必要数 ⑦=③-⑥	開催時 ^{*1} 従事見込数 ⑧	不足数 ⑨=⑦-⑧	養成 ^{*2} 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	陸上競技	448	448	0	448	25	0	25	423	154	269	350
2	水泳	514	208	93	301	53	46	99	202	83	119	159
3	サッカー	387	82	0	82	32	20	52	30	28	2	3
4	テニス	148	75	10	85	0	0	0	85	0	85	111
5	ローイング	120	45	10	55	18	16	34	21	16	5	7
6	ホッケー	79	25	40	65	26	0	26	39	3	36	48
7	ボクシング	87	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
8	バレーボール	477	252	0	252	7	16	23	229	106	123	162
9	体操	461	129	60	189	63	28	91	98	43	55	79
10	バスケットボール	313	90	0	90	25	23	48	42	25	17	23
11	レスリング	146	43	0	43	38	0	38	5	1	4	6
12	セーリング	220	32	76	108	31	57	88	20	2	18	27
13	ウエイトリフティング	123	36	5	41	2	12	14	27	17	10	14
14	ハンドボール	151	35	44	79	41	5	46	33	2	31	41
15	自転車	170	90	0	90	20	20	40	50	25	25	33
16	ソフトテニス	140	96	0	96	0	0	0	96	74	22	29
17	卓球	149	53	3	56	4	0	4	52	52	0	0
18	軟式野球	209	70	139	209	14	8	22	187	171	16	21
19	相撲	130	42	0	42	11	12	23	19	10	9	12
20	フェンシング	102	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
21	柔道	125	40	0	40	34	0	34	6	0	6	8
22	ソフトボール	320	129	51	180	10	16	26	154	62	92	121
23	バドミントン	295	264	1	265	0	0	0	265	137	128	169
24	弓道	148	30	0	30	0	20	20	10	10	0	0
25	ライフル射撃	154	42	0	42	28	8	36	6	3	3	4
26	剣道	112	20	0	20	18	0	18	2	0	2	3
27	ラグビーフットボール	115	48	0	48	10	13	23	25	10	15	20
28	スポーツクライミング	112	23	0	23	3	2	5	18	7	11	15
29	カヌー	235	83	54	137	36	0	36	101	4	97	128
30	アーチェリー	91	30	0	30	2	8	10	20	15	5	7
31	空手道	175	46	0	46	42	0	42	4	1	3	4
32	銃剣道	88	16	0	16	16	0	16	0	0	0	0
33	クレー射撃	101	28	0	28	12	0	12	16	8	8	11
34	なぎなた	112	21	0	21	19	0	19	2	1	1	2
35	ボウリング	127	26	6	32	2	0	2	30	13	17	23
36	ゴルフ	158	9	30	39	3	0	3	36	30	6	9
37	トライアスロン	111	111	20	131	4	62	66	65	38	27	37
38	高校野球	127	39	0	39	0	0	0	39	39	0	0
合	計	7,280	2,906	642	3,548	699	392	1,091	2,457	1,190	1,267	1,686

※1 開催時従事見込数：令和2年度末時点で、第82回国民スポーツ大会開催時に審判員・要資格運営員として従事できる県内有資格者の数
審判員の年齢的(定年制を含む)・体力的条件や、審判員以外(選手・監督等)で国スポに参加する等の理由によるものを除く

※2 養成目標数：原則として、⑨不足数に1.3を乗じた数(1.3倍の安全率は途中で資格取得が困難になった場合の減少数を考慮して設定)

(2) 第82回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成年次計画【資格取得】

(単位:人)

No.	内訳 競技名	養成実績		養成年次計画						延養成数
		令和3年度 2021 (7年前)	令和4年度 2022 (6年前)	令和5年度 2023 (5年前)	令和6年度 2024 (4年前)	令和7年度 2025 (3年前)	令和8年度 2026 (2年前)	令和9年度 2027 (1年前)	令和10年度 2028 (開催年)	
1	陸上競技	50	50	50	50	50	50	50	0	350
2	水泳	25	16	24	21	32	34	40	24	216
3	サッカー	1	1	1	0	0	0	0	0	3
4	テニス	1	15	4	24	56	36	0	0	136
5	ローイング	0	0	5	2	2	3	5	0	17
6	ホッケー	0	4	14	14	13	10	0	0	55
7	ボクシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	バレーボール	16	28	26	31	25	31	25	25	207
9	体操	19	23	33	34	31	26	10	0	176
10	バスケットボール	12	9	2	3	1	3	1	0	31
11	レスリング	0	1	2	4	2	1	1	0	11
12	セーリング	0	0	19	0	8	1	1	0	29
13	ウエイトリフティング	2	4	8	8	6	1	0	0	29
14	ハンドボール	0	0	41	0	0	0	0	0	41
15	自転車	5	7	5	5	5	4	4	0	35
16	ソフトテニス	0	5	4	10	10	0	0	0	29
17	卓球	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	軟式野球	3	2	3	3	4	3	3	0	21
19	相撲	0	2	2	2	2	2	2	0	12
20	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	柔道	3	2	1	0	0	0	0	0	6
22	ソフトボール	10	0	25	25	25	25	11	0	121
23	バドミントン	20	30	34	36	35	35	35	25	250
24	弓道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ライフル射撃	0	2	2	0	0	0	0	0	4
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	2	2
27	ラグビーフットボール	2	1	0	6	4	4	3	0	20
28	スポーツクライミング	0	3	2	2	3	3	4	0	17
29	カヌー	0	0	2	1	8	36	51	33	131
30	アーチェリー	2	1	2	1	1	1	1	0	9
31	空手道	0	1	1	2	1	1	1	0	7
32	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	クレー射撃	0	13	0	0	0	0	0	0	13
34	なぎなた	0	0	0	2	0	0	0	0	2
35	ボウリング	4	15	4	9	0	6	0	0	38
36	ゴルフ	1	0	0	5	4	3	0	0	13
37	トライアスロン	7	0	17	15	5	4	1	1	50
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合	計	183	235	333	315	333	323	249	110	2,081

(3) 第82回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成年次計画【資格維持・資質向上】

(単位:人)

No.	内訳 競技名	養成実績		養成年次計画						計
		令和3年度 2021 (7年前)	令和4年度 2022 (6年前)	令和5年度 2023 (5年前)	令和6年度 2024 (4年前)	令和7年度 2025 (3年前)	令和8年度 2026 (2年前)	令和9年度 2027 (1年前)	令和10年度 2028 (開催年)	
1	陸上競技	154	204	254	304	354	404	454	504	2,632
2	水泳	70	91	118	132	145	169	201	234	1,160
3	サッカー	28	29	30	31	31	31	31	31	242
4	テニス	0	1	12	7	25	75	111	111	342
5	ローイング	18	18	13	17	18	19	18	23	144
6	ホッケー	0	0	7	21	32	41	51	51	203
7	ボクシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	バレーボール	1	100	127	149	172	195	218	243	1,205
9	体操	29	37	49	66	84	98	111	122	596
10	バスケットボール	23	34	46	45	47	45	47	48	335
11	レスリング	2	2	2	2	4	6	6	7	31
12	セーリング	2	2	0	21	13	21	22	23	104
13	ウエイトリフティング	5	9	20	23	28	30	31	31	177
14	ハンドボール	0	2	2	43	43	43	43	43	219
15	自転車	5	2	5	5	5	5	5	0	32
16	ソフトテニス	16	4	15	19	29	103	103	103	392
17	卓球	10	11	52	52	52	52	52	52	333
18	軟式野球	260	260	190	190	189	189	189	192	1,659
19	相撲	10	10	12	14	16	18	20	22	122
20	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	柔道	0	0	5	6	6	6	6	6	35
22	ソフトボール	24	29	30	30	30	30	30	30	233
23	バドミントン	98	50	178	195	216	236	256	281	1,510
24	弓道	0	10	10	10	10	10	10	10	70
25	ライフル射撃	3	3	5	7	7	7	7	7	46
26	剣道	0	0	2	2	2	2	2	0	10
27	ラグビーフットボール	10	10	13	13	19	23	27	30	145
28	スポーツクライミング	0	7	10	12	13	16	18	22	98
29	カヌー	2	4	2	4	5	13	48	99	177
30	アーチェリー	0	0	16	18	19	20	21	22	116
31	空手道	1	2	3	3	4	4	4	5	26
32	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	クレール射撃	0	8	0	0	0	19	0	0	27
34	なぎなた	2	3	3	1	3	3	3	3	21
35	ボウリング	8	3	32	27	36	30	36	36	208
36	ゴルフ	30	29	28	27	32	36	39	38	259
37	トライアスロン	36	37	41	56	68	71	74	74	457
38	高校野球	39	39	39	39	39	39	39	39	312
合	計	886	1,050	1,371	1,591	1,796	2,109	2,333	2,542	13,678

2 令和4年度 審判員・要資格運営員の養成状況

(単位:人、%)

No.	内訳 競技名	R4養成状況						養成計画(資格取得) 進捗状況		
		資格取得			維持向上			R3~R10 資格取得 必要人数	R3、R4での 資格取得済 人数	R4末 取得済 割合
		計画	実績	達成率	計画	実績	達成率			
1	陸上競技	50	50	100.0%	204	204	100.0%	350	100	28.6%
2	水泳	38	16	42.1%	155	91	58.7%	216	41	19.0%
3	サッカー	1	1	100.0%	26	29	111.5%	3	2	66.7%
4	テニス	16	15	93.8%	3	1	33.3%	136	16	11.8%
5	ローイング	5	0	0.0%	15	18	120.0%	17	0	0.0%
6	ホッケー	15	4	26.7%	0	0	-	55	4	7.3%
7	ボクシング	0	0	-	0	0	-	0	0	-
8	バレーボール	36	28	77.8%	105	100	95.2%	207	44	21.3%
9	体操	31	23	74.2%	38	37	97.4%	176	42	23.9%
10	バスケットボール	9	9	100.0%	44	34	77.3%	31	21	67.7%
11	レスリング	1	1	100.0%	4	2	50.0%	11	1	9.1%
12	セーリング	0	0	-	2	2	100.0%	29	0	0.0%
13	ウエイトリフティング	7	4	57.1%	14	9	64.3%	29	6	20.7%
14	ハンドボール	0	0	-	3	2	66.7%	41	0	0.0%
15	自転車	5	7	140.0%	5	2	40.0%	35	12	34.3%
16	ソフトテニス	0	5	-	46	4	8.7%	29	5	17.2%
17	卓球	0	0	-	52	11	21.2%	0	0	-
18	軟式野球	3	2	66.7%	189	260	137.6%	21	5	23.8%
19	相撲	3	2	66.7%	10	10	100.0%	12	2	16.7%
20	フェンシング	0	0	-	0	0	-	0	0	-
21	柔道	0	2	-	3	0	0.0%	6	5	83.3%
22	ソフトボール	21	0	0.0%	77	29	37.7%	121	10	8.3%
23	バドミントン	40	30	75.0%	140	50	35.7%	250	50	20.0%
24	弓道	0	0	-	10	10	100.0%	0	0	-
25	ライフル射撃	2	2	100.0%	3	3	100.0%	4	2	50.0%
26	剣道	2	0	0.0%	0	0	-	2	0	0.0%
27	ラグビーフットボール	2	1	50.0%	12	10	83.3%	20	3	15.0%
28	スポーツクライミング	2	3	150.0%	5	7	140.0%	17	3	17.6%
29	カヌー	0	0	-	0	4	-	131	0	0.0%
30	アーチェリー	2	1	50.0%	0	0	-	9	3	33.3%
31	空手道	1	1	100.0%	2	2	100.0%	7	1	14.3%
32	銃剣道	0	0	-	0	0	-	0	0	-
33	クレール射撃	11	13	118.2%	0	8	-	13	13	100.0%
34	なぎなた	0	0	-	4	3	75.0%	2	0	0.0%
35	ボウリング	16	15	93.8%	13	3	23.1%	38	19	50.0%
36	ゴルフ	6	0	0.0%	10	29	290.0%	13	1	7.7%
37	トライアスロン	6	0	0.0%	40	37	92.5%	50	7	14.0%
38	高校野球	0	0	-	39	39	100.0%	0	0	-
合計		331	235	71.0%	1,273	1,050	82.5%	2,081	418	20.1%

審議事項

第 82 回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ
実施競技及び会場地市町村第 1 次選定（案）

No.	実施競技	主管団体	市町村	開催予定施設
1	マレットゴルフ	長野県マレット ゴルフ連盟	池田町	池田町アルプス広場マレットゴルフ場
2	少林寺拳法	長野県少林寺拳法 連盟	佐久市	長野県立武道館

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会

競技会場地市町村の選定について

1 第 82 回国民スポーツ大会 正式競技

(1) 本大会

No.	競技・種目		種別	市町村	開催予定施設
1	陸上競技		全種別	松本市	長野県松本平広域公園陸上競技場
2	水泳	競泳	全種別	長野市	長野運動公園総合運動場総合市民プール (アクアウィング)
		飛込	全種別		
		水球	少年男子 女子		
		アーティスティック スイミング	少年女子		
		オープンウォーター スイミング	男子 女子	信濃町	野尻湖特設会場
3	サッカー		成年女子	長野市	南長野運動公園総合球技場 (長野Uスタジアム) 南長野運動公園フットボール場 (仮称)
			少年男子	松本市	長野県松本平広域公園総合球技場 (サンプロアルウィン) 長野県松本平広域公園芝生グラウンド 長野県松本平広域公園球技場 松本市サッカー場
			少年女子	大町市	大町市運動公園サッカー場 大町市運動公園陸上競技場
4	テニス		全種別	松本市	松本市浅間温泉庭球公園 長野県松本平広域公園庭球競技場
5	ローイング		全種別	下諏訪町	下諏訪ローイングパーク
6	ホッケー		全種別	駒ヶ根市	馬住ヶ原運動場
				飯島町	柏木運動場
7	ボクシング		成年男子 成年女子 少年男子	東御市	東御中央公園第一体育館
8	バレー ボール	6人制	成年男子	大町市	大町市運動公園総合体育館
			成年女子	安曇野市	安曇野市総合体育館 (ANCアリーナ)
			少年男子 少年女子	松本市	松本市総合体育館
		ビーチバレー ボール	少年男子 少年女子	高森町	高森町ビーチバレーボール場 (仮称)
9	体操	競技	全種別	長野市	真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング)
		新体操	少年男子 少年女子	千曲市	更埴体育館 (ことぶきアリーナ千曲)
		トランポリン	男子 女子	須坂市	須坂市北部体育館
10	バスケットボール		全種別	長野市	真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング) 長野運動公園総合運動場総合体育館 南長野運動公園総合運動場体育館
11	レスリング		成年男子 少年男子 女子	小諸市	小諸市総合体育館
12	セーリング		全種別	諏訪市	諏訪市特設セーリング会場

No.	競技・種目		種別	市町村	開催予定施設
13	ウェイトリフティング		成年男子 少年男子 女子	安曇野市	安曇野市三郷文化公園体育館
14	ハンドボール		全種別	千曲市	更埴体育館（ことぶきアリーナ千曲） 戸倉体育館 千曲市立戸倉上山田中学校体育館
			成年女子	東御市	東御中央公園第一体育館
			少年男子	上田市	上田市自然運動公園総合体育館
15	自転車	トラック・レース	成年男子 少年男子 女子	松本市	松本市美鈴湖自転車競技場
		ロード・レース	成年男子 少年男子 女子	富士見町	富士見町特設自転車ロード・レースコース
16	ソフトテニス		全種別	上田市	上田市新設テニスコート
17	卓球		全種別	岡谷市	岡谷市民総合体育館（スワンドーム）
18	軟式野球		成年男子	松本市	松本市野球場（セキスイハイム松本スタジアム） 松本市四賀球場 （信州グリーンローズスタジアム四賀）
				上田市	長野県営上田野球場
				諏訪市	諏訪市諏訪湖スタジアム （しんきん諏訪湖スタジアム）
				茅野市	茅野市運動公園野球場
佐久市	佐久総合運動公園野球場				
19	相撲		成年男子 少年男子	木曾町	木曾町民相撲場
20	フェンシング		全種別	箕輪町	箕輪町町民体育館 箕輪町社会体育館
21	柔道		成年男子 少年男子 女子	佐久市	長野県立武道館
22	ソフトボール		全種別	伊那市	伊那スタジアム 伊那市営野球場 美すずスポーツ公園運動場 富士塚スポーツ公園運動場 高遠スポーツ公園総合運動場 長谷総合グラウンド
23	バドミントン		全種別	塩尻市	塩尻市総合体育館（ユメックスアリーナ）
24	弓道		全種別	飯田市	長野県飯田運動公園弓道場
25	ライフル射撃	CP	成年男子	長野市	長野県警察学校射撃場
		50m、AP	成年男子 成年女子	福井県 福井市	福井県立ライフル射撃場
		10m	全種別		
		BR、BP	少年男子 少年女子	福井県営体育館	
26	剣道		全種別	中野市	中野市民体育館
27	ラグビー フットボール	15人制	少年男子	上田市	上田市菅平高原スポーツランド （サニアパーク菅平）
		7人制	成年男子 女子		
28	スポーツクライミング		全種別	大町市	大町市運動公園特設スポーツクライミング会場

No.	競技・種目		種別	市町村	開催予定施設
29	カヌー	スプリント	全種別	飯山市	北竜湖特設カヌースプリント会場
		スラローム	成年男子	高森町	高森町新設カヌー競技場
		ワイルドウォーター	成年女子		
30	アーチェリー		全種別	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場
31	空手道		全種別	佐久市	長野県立武道館
32	銃剣道		成年男子 少年男子	塩尻市	塩尻市総合体育館（ユメックスアリーナ）
33	クレー射撃		成年	辰野町	長野県営総合射撃場
34	なぎなた		成年女子 少年女子	松本市	松本市総合体育館
35	ボウリング		全種別	長野市	ヤングファラオ
36	ゴルフ		成年男子 少年男子 女子	軽井沢町	軽井沢72ゴルフ
37	トライアスロン		成年男子 成年女子	岡谷市 諏訪市 下諏訪町	諏訪湖特設トライアスロン会場

(2) 冬季大会

No.	競技・種目		種別	市町村	開催予定施設
1	スキー	ジャイアントスラローム	全種別	飯山市	戸狩温泉スキー場
		スペシャルジャンプ	成年男子 少年男子		市営飯山シャンツェ
		コンバインド	成年男子 少年男子		市営飯山シャンツェ 長峰クロスカントリースキーコース
		クロスカントリー	全種別		長峰クロスカントリースキーコース
2	スケート	スピードスケート	全種別	長野市	長野市オリンピック記念アリーナ （エムウェーブ）
		フィギュアスケート	全種別		長野市若里多目的スポーツアリーナ （ビッグハット）
		ショートトラック	全種別	南牧村	帝産アイススケートトレーニングセンター
3	アイスホッケー		成年男子 少年男子	軽井沢町	軽井沢風越公園アイスアリーナ 調整中

2 第82回国民スポーツ大会 公開競技

No.	競技	種別	市町村	開催予定施設
1	綱引	全種別	岡谷市	岡谷市民総合体育館（スワンドーム）
2	ゲートボール	全種別		調整中
3	武術太極拳	全種別	佐久市	長野県立武道館
4	パワーリフティング	全種別	白馬村	白馬村多目的研修集会施設
5	グラウンド・ゴルフ	全種別		調整中
6	バウンドテニス	全種別	軽井沢町	軽井沢風越公園総合体育館
7	エアロビック	全種別		調整中
8	スポーツチャンバラ	全種別	山ノ内町	山ノ内町立山ノ内中学校体育館
9	ダンススポーツ	全種別	安曇野市	安曇野市総合体育館（ANCアリーナ）

	競技数	市町村数
第1次選定（R5. 5. 31）	6	6

3 第82回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ

No.	競技	市町村	開催予定施設
1	マレットゴルフ	池田町	池田町アルプス広場マレットゴルフ場
2	少林寺拳法	佐久市	長野県立武道館

4 第82回国民スポーツ大会 特別競技

競技・種目		市町村	開催予定施設
高等学校野球	硬式	長野市	南長野運動公園総合運動場野球場（長野オリンピックスタジアム）
	軟式	飯田市	長野県飯田運動公園野球場（綿半飯田野球場）

5 第27回全国障害者スポーツ大会 正式競技

No.	区分	競技	障害区分※			市町村	開催予定施設	
			身体障がい	知的障がい	精神障がい			
1	個人競技	陸上競技	○	○	—	松本市	長野県松本平広域公園陸上競技場	
2		水泳	○	○	—	長野市	長野運動公園総合運動場総合市民プール（アクアウィング）	
3		アーチェリー	○	—	—	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場	
4		卓球	○	○	○	岡谷市	岡谷市民総合体育館（スワンドーム）	
5		フライングディスク	○	○	—	茅野市	茅野市運動公園陸上競技場	
6		ボウリング	—	○	—	長野市	ヤングファラオ	
7		ボッチャ	○	—	—	千曲市	更埴体育館（ことぶきアリーナ千曲）	
8	団体競技	バスケットボール	—	○	—	長野市	真島総合スポーツアリーナ（ホワイtring） 長野運動公園総合運動場総合体育館 南長野運動公園総合運動場体育館 のいずれか	
9		車いすバスケットボール	○	—	—			
10		ソフトボール	—	○	—	伊那市	伊那スタジアム 伊那市営野球場 美すずスポーツ公園運動場 富士塚スポーツ公園運動場 のいずれか	
11		グランドソフトボール	○	—	—			
12		フットソフトボール	—	○	—			
13		バレーボール		○	—	—	安曇野市	安曇野市総合体育館（ANCアリーナ）
				—	○	—	松本市	松本市総合体育館
			—	—	○	大町市	大町市運動公園総合体育館	
14	サッカー	—	○	—	松本市	長野県松本平広域公園総合球技場（サンプロアルウィン） 長野県松本平広域公園芝生グラウンド 長野県松本平広域公園球技場 松本市サッカー場 のいずれか		

凡例) ○：競技あり、—：対象競技なし

※ 身体障がいは身体障害者福祉法に基づく身体障害者手帳の交付を受けた者。知的障がいは厚生事務次官通知による療育手帳の交付を受けた者。精神障がいは精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、あるいは、取得対象に準ずる障がいのある者。



信州やまなみ国スポ・全障スポ 競技会場地市町村



- ◆国スポ 正式競技 (本大会) : 37競技/28市町村・県外 1市町村
- 国スポ 正式競技 (冬季大会) : 3競技/4市町村
- ▲国スポ 公開競技 : 6競技/6市町村
- ▼国スポ デモンストレーションスポーツ : 2競技/2市町村
- 国スポ 特別競技 : 1競技/2市町村
- ◇全障スポ 正式競技 : 個人7競技・団体7競技/9市町村

- 長野市**
- ◆水泳 (競泳、飛込、水球、AS)
 - ◆サッカー
 - ◆体操 (競技)
 - ◆バスケットボール
 - ◆ライフル射撃 (CP)
 - ◆ボウリング
 - スケート (スピード、フィギュア)
 - 高等学校野球 (硬式)
 - ◇水泳
 - ◇ボウリング
 - ◇バスケットボール
 - ◇車いすバスケットボール

- 安曇野市**
- ◆バレーボール
 - ◆ウエイトリフティング
 - ▲ダンススポーツ
 - ◇バレーボール (身体)

- 松本市**
- 【総合開・開会式】
- ◆陸上競技
 - ◆サッカー
 - ◆テニス
 - ◆バレーボール
 - ◆自転車 (トラック)
 - ◆軟式野球
 - ◆なぎなた
 - ◇陸上競技
 - ◇バレーボール (知的)
 - ◇サッカー

- 塩尻市**
- ◆バドミントン
 - ◆銃剣道

- 辰野町**
- ◆クレ射撃

- 木曾町**
- ◆相撲

- 箕輪町**
- ◆フェンシング

- 駒ヶ根市**
- ◆ホッケー

- 飯島町**
- ◆ホッケー

- 高森町**
- ◆バレーボール (ビーチバレーボール)
 - ◆カヌー (スラローム・ワイルドウォーター)

- 信濃町**
- ◆水泳 (OWS)

- 中野市**
- ◆剣道

- 飯山市**
- ◆カヌー (スプリント)
 - スキー

- 山ノ内町**
- ▲スポーツチャンバラ

- 須坂市**
- ◆体操 (トランポリン)

- 千曲市**
- ◆体操 (新体操)
 - ◆ハンドボール
 - ◇ボッチャ

- 上田市**
- ◆ハンドボール
 - ◆ソフトテニス
 - ◆軟式野球
 - ◆ラグビーフットボール

- 東御市**
- ◆ボクシング
 - ◆ハンドボール

- 軽井沢町**
- ◆ゴルフ
 - アイスホッケー
 - ▲バウンドテニス

- 小諸市**
- ◆レスリング

- 佐久市**
- ◆軟式野球
 - ◆柔道
 - ◆アーチェリー
 - ◆空手道
 - ▲武術太極拳
 - ▼少林寺拳法
 - ◇アーチェリー

- 南牧村**
- スケート (ショートトラック)

- 茅野市**
- ◆軟式野球
 - ◇フライングディスク

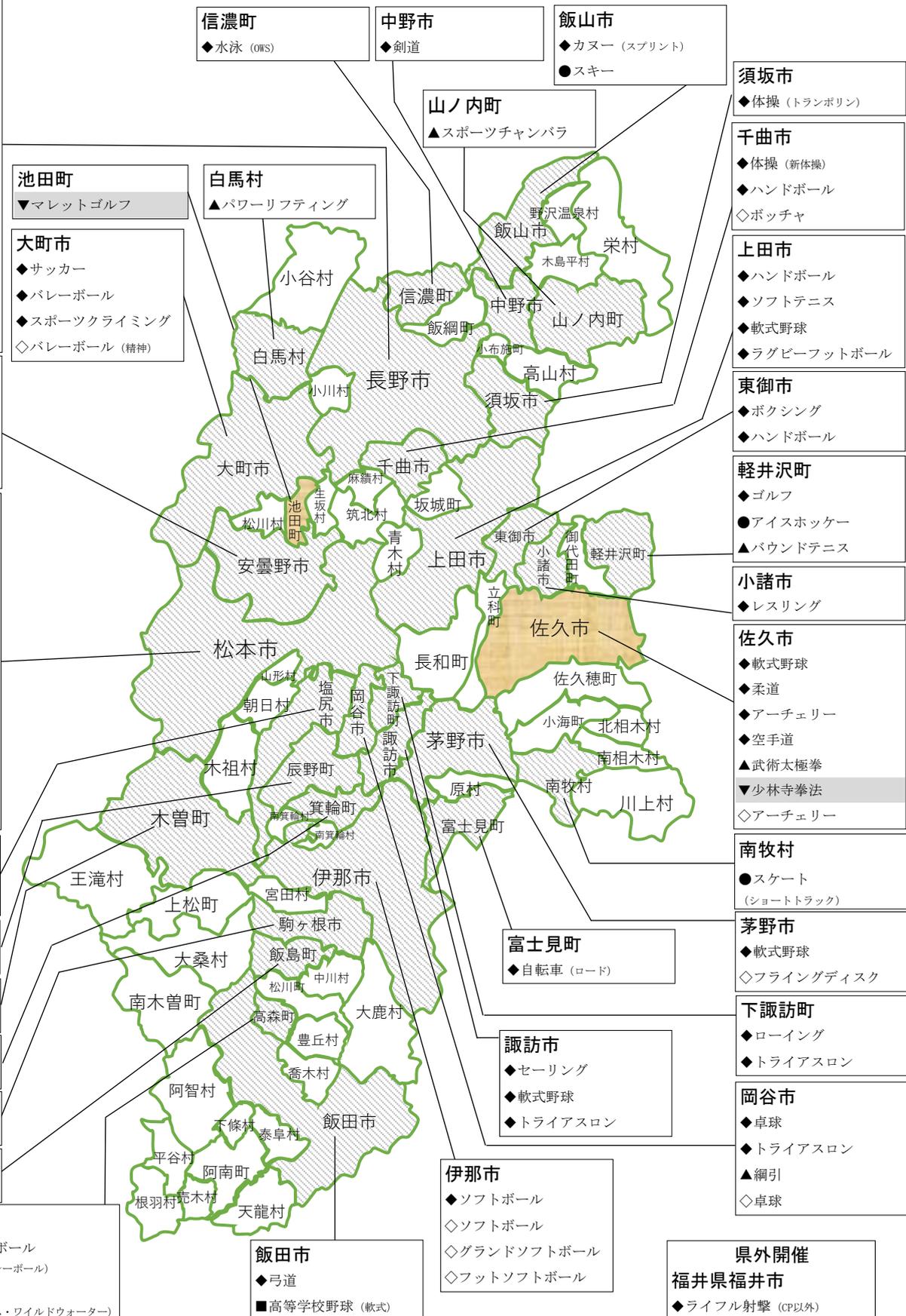
- 下諏訪町**
- ◆ローイング
 - ◆トライアスロン

- 岡谷市**
- ◆卓球
 - ◆トライアスロン
 - ▲綱引
 - ◇卓球

- 伊那市**
- ◆ソフトボール
 - ◇ソフトボール
 - ◇グランドソフトボール
 - ◇フットソフトボール

- 飯田市**
- ◆弓道
 - 高等学校野球 (軟式)

- 県外開催 福井県福井市**
- ◆ライフル射撃 (CP以外)



第 82 回国民スポーツ大会 記録業務基本方針（案）

第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会を除く）正式競技及び特別競技における競技成績等記録の収集、発表及び総合成績の算出に関する業務（以下「記録業務」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民スポーツ大会開催基準要項」、「同細則」、「国民スポーツ大会記録情報処理要項」及び「第 82 回国民スポーツ大会競技運営基本方針」に基づき行うほか、この基本方針により実施する。

1 記録業務の推進

県、会場地市町村及び関係競技団体は、記録業務を分担し、相互に連携を図りながら、正確かつ迅速に記録業務を推進する。

2 記録本部の設置

県及び会場地市町村は、記録業務の円滑な推進を図るため、それぞれ記録本部を設置する。

(1) 県記録本部

県は、競技に関する成績、記録、定期連絡、緊急連絡等（以下「競技記録等」という。）を収集及び発表し、都道府県総合成績を算出するため、県記録本部を設置する。

(2) 競技会場記録本部

会場地市町村及び関係競技団体は、実施競技に関する競技記録等を処理及び発表し、県記録本部へ送信するための競技会場記録本部を設置する。また、複数の会場で実施される競技については、各競技会場の競技記録等を取りまとめるための競技記録集約会場を決定する。

3 記録本部の業務

県及び会場地市町村は、次により記録業務を実施する。

(1) 県記録本部

ア 競技記録等の収集

県記録本部は、全競技の競技記録等及び競技別総合成績を競技会場記録本部又は競技記録集約会場から収集する。

イ 競技記録等の発表

県記録本部は、全競技の競技記録等及び競技別総合成績を発表するとともに、記録・成績等に関する照会に対応する。

ウ 都道府県総合成績の算出・発表

県記録本部は、収集した競技記録等及び競技別総合成績から、都道府県総合成績を算出し、発表する。

(2) 競技会場記録本部

ア 競技記録等の決定

競技会場記録本部は、競技記録等を取りまとめるとともに、競技別総合成績を決定する。

イ 県記録本部への送信

競技会場記録本部は、競技記録等及び競技別総合成績を県記録本部へ送信する。

ウ 競技会場における競技記録等の発表

競技会場記録本部は、競技記録等及び競技別総合成績を競技会場において発表する。

エ 競技記録集約会場

競技記録集約会場に決定された競技会場記録本部は、その他の競技会場の競技記録等及び競技別総合成績を取りまとめ、県記録本部へ送信するとともに発表する。

4 記録システムの使用・構築

県は、競技記録等及び競技別総合成績の収集、都道府県総合成績の算出、発表を正確かつ迅速に処理することのできる次の記録システムを使用・構築する。

- (1) 競技記録等及び競技別総合成績を競技会場記録本部又は競技記録集約会場から県記録本部へ速やかに送信できるシステム
- (2) 競技記録等及び競技別総合成績から、速やかに都道府県総合成績を算出できるシステム
- (3) 競技記録等及び競技別総合成績並びに都道府県総合成績を速報できるシステム

5 その他

この方針に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

国民スポーツ大会における記録業務の概要

1 国スポの記録業務

国スポの記録業務は県、会場地市町村及び県競技団体の密接な連携のもと、以下の業務を行う。

- (1) 記録本部の設置（県記録本部と競技会場記録本部を設置）
- (2) 競技運営に関する情報及び競技記録に関する情報（以下、競技記録等）の収集・速報
- (3) 総合成績の算出

2 鹿児島特別国体における記録本部の設置状況

(1) 県記録本部設置場所

会期前	鹿児島県庁7階会議室 7-A-2	県実行委員会と同施設	157 m ²
本会期	かざん会館 With 大ホール	総合閉会式の最寄施設	382 m ²

(2) 開設期間

会期前	令和5年9月14日（木）～10月4日（水）【21日間】
本会期	令和5年10月2日（月）～10月18日（水）【17日間】



【写真 県記録本部の様子】

3 記録本部において処理する情報について

競技会における「競技運営に関する情報」と「競技記録に関する情報」を競技記録等という。

競技記録等及び総合成績は下記の区分に基づき、競技会場記録本部において「帳票」を作成し、県記録本部へ送信する。

		区分	主な内容
競技記録等	競技運営に関する情報	定期連絡	競技開始連絡、競技終了連絡等 ※電話連絡（帳票作成不要）
		緊急時対応連絡	競技の中断・再開、日程変更、中止、緊急搬送等 ※指定様式
	競技記録に関する情報	競技記録	競技結果、トーナメント表、スタートリスト、戦評等 ※各競技独自の様式
		競技報告	プログラム訂正、記録訂正、監督・選手交代、新（タイ）記録等 ※指定様式
総合成績			総合成績一覧等 ※指定様式

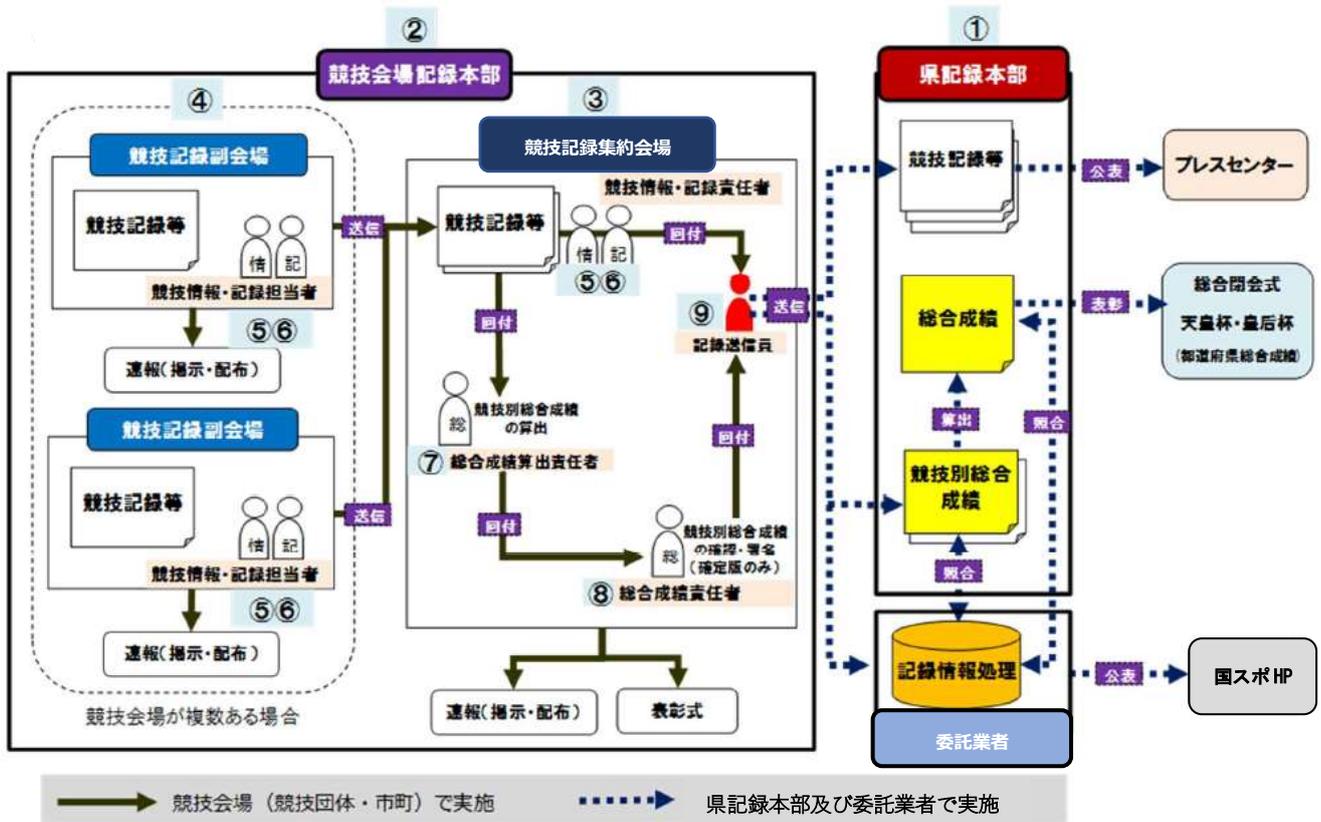
(1) 競技記録等の公表

県記録本部は、競技記録等及び総合成績を報道関係機関及びインターネット上に公表する。競技結果に関する情報は、原則として競技会場記録本部から提供後、30分程度で公表する。

(2) 大会終了後の競技記録等の公開

県記録本部は、日本スポーツ協会との協議に基づき、大会終了後一定期間、競技結果に関する情報を引き続きインターネット上に公開する。

4 記録業務の流れ



◆競技記録集約会場は、副会場を含め、すべての「競技記録等」を県記録本部へ送信する。

◆ 記録業務の用語説明

① 県記録本部	開催基準要項に基づき、県が設置する記録本部のこと。
② 競技会場記録本部	会場地市町村が競技会場ごとに設置する記録本部のこと。
③ 競技記録集約会場	競技会場記録本部のうち、競技記録等の収集・速報及び競技別総合成績を算出し、県記録本部へ送信する会場のこと。
④ 競技記録副会場	競技会場記録本部のうち、競技記録等を収集・速報するとともに、競技記録集約会場へ送信する会場のこと。ただし、競技日程等により県記録本部へ送信する場合もある。
⑤ 競技情報責任者 (担当者)	責任者を競技記録集約会場に、担当者を競技記録副会場に配置し、「競技運営に関する情報」の収集・速報業務の把握・統括及び問合せ等の業務を行う。
⑥ 競技記録責任者 (担当者)	責任者を競技記録集約会場に、担当者を競技記録副会場に配置し、「競技記録に関する情報」の収集・速報業務の把握・統括及び問合せ等の対応を行う。
⑦ 総合成績算出責任者	中央競技団体及び総合成績責任者との連絡調整及び総合成績の算出を行う。
⑧ 総合成績責任者	中央競技団体が選出し、競技別総合成績の確認及び確定させる。
⑨ 記録送信員	県（委託業者）が競技記録集約会場に配置し、競技記録集約会場から県記録本部へ競技記録等の送信業務を行う。

第82回国民スポーツ大会 記録業務スケジュール（案）

	日本スポーツ協会	県	市町村	県競技団体
R 5 (2023年) 5年前		記録業務基本方針の策定		
R 6 (2024年) 4年前		【佐賀国スポ実務研修（9～10月）】 県記録本部設置場所の検討		
R 7 (2025年) 3年前	協議	【滋賀国スポ実務研修（9～10月）】	先催市町村の記録業務の状況把握 競技記録本部設置場所の検討 【滋賀国スポ視察】	
R 8 (2026年) 2年前	記録システム 参入業者申請受付 ↓ 協議 ↓ 記録システム 参入業者決定 (3月)	競技記録業務の概要説明 ・競技（会場地）記録本部設置場所の検討について ・今後のスケジュールについて 【青森国スポ実務研修（9～10月）】 県記録本部設置場所の選定 県記録本部設置要項の策定	【青森国スポ視察】 先催市町村の記録業務の視察	
R 9 (2027年) 1年前	記録システム 参入業者指定 (4月)	国スポ記録システムの決定 記録システム指定業者との協議 県記録本部設営計画委託 第1回 記録業務担当者説明会 【宮崎国スポ実務研修（9～10月）】 記録業務に関する担当者ヒアリング	競技会場記録本部設置場所の選定 競技記録責任者・担当者等の選任 【宮崎国スポ視察】 先催市町村の記録業務の視察	
R 10 (2028年) 国スポ開催		記録システム 委託業者決定・契約 県記録本部員選任 県記録本部設営委託 競技会場記録本部の現地調査（記録システム受託業者） 第2回 記録業務担当者説明会 県記録本部員研修会 県記録本部の設置	競技記録担当者等の名簿作成 競技会場記録本部員研修会 競技会場記録本部の設置	
第82回国民スポーツ大会 信州やまなみ国スポ・全障スポ				

※このスケジュールは、必要に応じて改訂する。

第 82 回国民スポーツ大会 競技別リハーサル大会開催基準要項（案）

1 趣旨

この要項は、「第 82 回国民スポーツ大会競技運営基本方針」に基づき、第 82 回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）における各競技会の円滑な運営に資するために会場地市町村と関係競技団体が実施する競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）に関して、基本的な事項を定める。

2 目的

大会の目的は次のとおりとする。

- (1) 会場地市町村及び関係競技団体の競技会運営能力の向上を図り、国スポの円滑な開催に資する。
- (2) 県民の国スポ及び競技に対する関心を高め、理解を深めるとともに、国スポ開催の気運醸成を図る。

3 開催期間及び回数

大会は、会場地市町村と関係競技団体が協議の上、会場地市町村において国スポ開催前年度から国スポ開催時までの間に、原則として 1 競技につき 1 回開催できるものとする。

4 大会の開催

大会は、会場地市町村及び関係競技団体が協力して開催するものとし、分散開催の競技については、複数の会場地市町村により共同で開催することができるものとする。

5 大会の規模

大会は、原則として参加者数及び競技役員数等が国スポを上回らないものとし、北信越地区大会の活用を努めるものとする。

なお、これによらない場合は、長野県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）と別途協議するものとする。

6 大会の運営

- (1) 大会は、国スポにおける各競技会に準じ、運営する。
- (2) 大会に使用する施設は、原則として国スポで使用する施設とする。
- (3) 大会は、会場地市町村及び関係競技団体の実情に応じたものとし、双方が協力して創意工夫することにより、簡素で効率的な運営に努める。

7 大会の経費

- (1) 大会の経費は、会場地市町村及び関係競技団体が負担するものとする。
- (2) 大会は、華美、過大にならないよう留意し、その経費については、大会の目的が達成できる必要最小限度にとどめるものとする。

8 開催の手続き

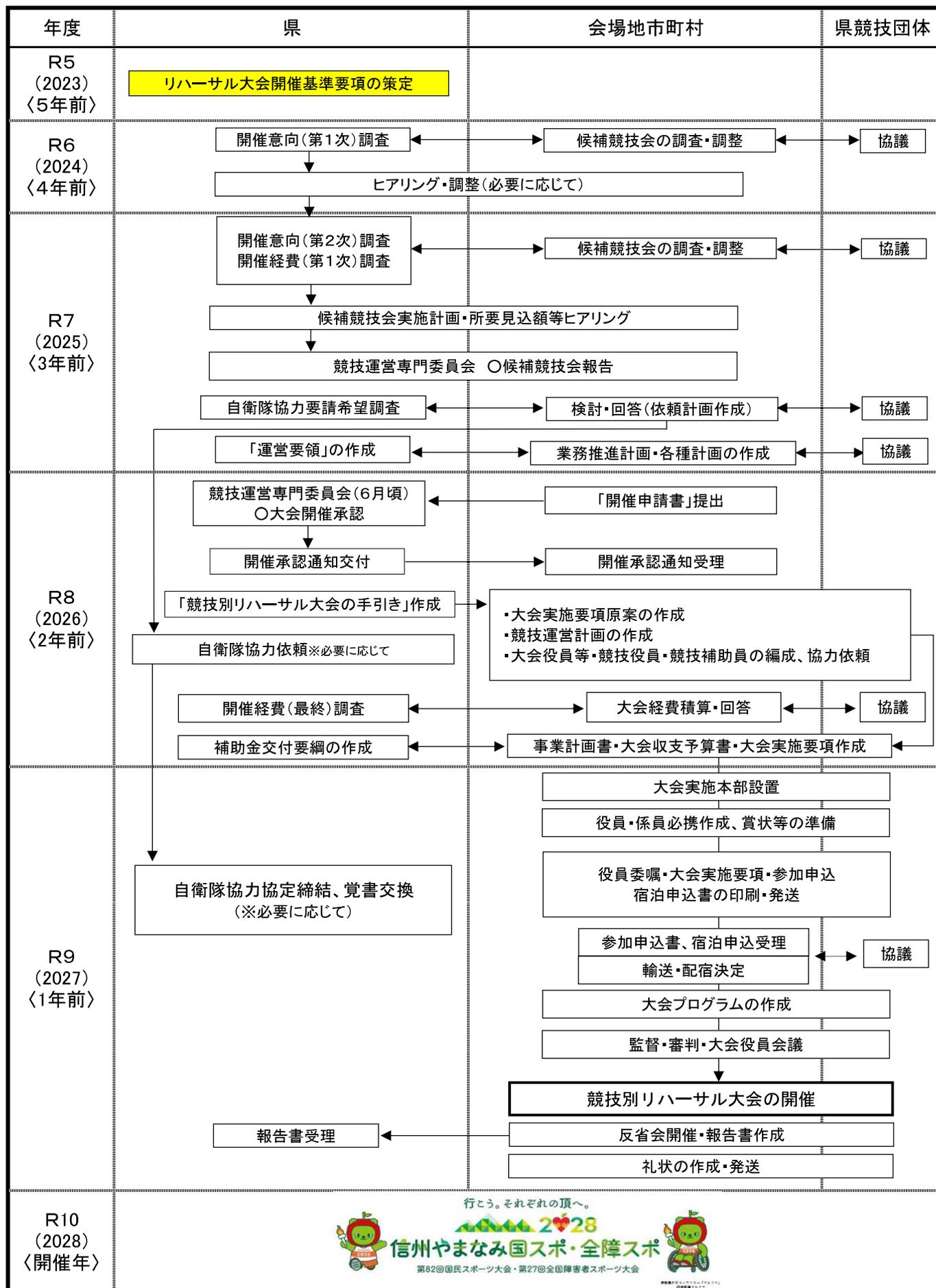
大会を開催する会場地市町村は、関係競技団体と協議の上、大会開催申請書を県委員会に提出し、承認を求めるものとする。

なお、提出する申請書及び提出時期については、別に定める。

9 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

第82回国民スポーツ大会 競技別リハーサル大会開催業務の流れ



※このスケジュールは、必要に応じて改訂する。

第27回全国障害者スポーツ大会 審判員養成計画（案）

1 趣旨

第27回全国障害者スポーツ大会の円滑な競技運営と、障がい者スポーツの普及・振興を図るため、競技運営主管団体等の協力を得て、審判員（要資格運営員を含む）を養成する。

2 基本的事項

下記に基づいて第27回全国障害者スポーツ大会の審判員養成計画を作成する。

- (1) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針
- (2) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針
- (3) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本計画
- (4) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画

3 審判員及び養成協力団体（競技運営主管団体）

	A 必要となる 競技役員数 (注1)	B 必要となる 審判員数 (注2)	C 国スポにお ける審判員 確保数 (県内)	D 過不足数 (B - C)	競技運営主管団体
陸上競技	370	95	423	-328	一般財団法人長野陸上競技協会
水泳	130	40	202	-162	一般財団法人長野県水泳連盟
アーチェリー	40	10	20	-10	長野県アーチェリー協会
卓球	120	30	52	-22	長野県卓球連盟
サウンドテーブルテニス	30	20	0	20	
フライングディスク	120	80	0	80	長野県障害者フライングディスク協会
ボウリング	40	10	30	-20	長野県ボウリング連盟
ポッチャ	60	50	0	50	長野県ポッチャ協会
バスケットボール	70	20	42	-22	一般社団法人長野県バスケットボール協会
車椅子バスケットボール	60	20	0	20	
ソフトボール	70	20	154	-134	長野県ソフトボール協会
グラウンドソフトボール	70	40	0	40	
フットソフトボール	80	25	0	25	
バレーボール	120	30	229	-199	一般財団法人長野県バレーボール協会
サッカー	90	25	30	-5	一般社団法人長野県サッカー協会
合計	1,470	515	1,182		

(注1) 先催県の審判員養成計画等より算出。

(注2) 全国障害者スポーツ大会特有競技については、先催県の審判員養成計画等により算出し、それ以外の競技については、競技役員数の概ね1/4を想定。

4 審判員養成年次計画

		令和5年度 5年前	令和6年度 4年前	令和7年度 3年前	令和8年度 2年前	令和9年度 1年前	令和10年度 開催年	
全国障害者スポーツ大会 <u>独自競技</u> サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ボッチャ、車椅子バスケットボール、グラウンドソフトボール、フットソフトボール	中央講習会等派遣	審判員養成 資格取得等					リハール大会	本大会
	県内講習会							
調査・研究 先催大会 視察等	調査・研究							
国民スポーツ大会 <u>同一競技</u>	中央講習会等派遣・県内講習会	国民スポーツ大会の審判員養成により達成						
	調査・研究 先催大会 視察等	調査・研究						

審判員の養成は、全国障害者スポーツ大会の独自競技6種目（サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ボッチャ、車椅子バスケットボール、グラウンドソフトボール、フットソフトボール）を中心に行うこととし、審判員の養成方法や年次計画の策定等は各競技運営主管団体と協議しながら進めていく。

第 27 回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針(案)

第 27 回全国障害者スポーツ大会において実施するオープン競技は、公益財団法人日本パラスポーツ協会の定める「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」及び「第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) 「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で、オープン競技に参加する県民が、スポーツへの関心を高め、行動につなげる契機とする。
- (2) 障がいのある人もない人もみんなでスポーツを通じた交流を拡大し、障がいへの理解を深め、多様性を尊重する共生社会づくりを目指す。

2 募集

広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技について、県内の関係団体等へ公募する。

3 運営・経費

オープン競技の実施を希望する団体（以下「実施団体」という。）は、競技会開催にあたり必要な業務について、すべての運営を行う。

また、競技会開催に係る経費については、実施団体の負担とする。

4 実施競技の選択

実施競技は、公募を行い、次の事項について総合的に検討し、選択する。

- (1) 「全国障害者スポーツ大会競技規則」に定める個人競技及び団体競技以外の競技であること。
- (2) 主管する競技団体等に大会運営能力があること。
- (3) 県内に出場可能な選手・チームが存在すること。
- (4) 県外の選手・チームが出場できるルールが確立している競技であること。
- (5) 既存施設での開催が可能であること。
- (6) 原則として、第 27 回全国障害者スポーツ大会の開催期間内に実施が可能であること。

5 選定手順（予定）

- (1) 令和 6 年 7 月～ 関係団体等に対し、公募
- (2) 令和 6 年 12 月～ オープン競技（案）について審議・選定
- (3) 令和 7 年 2 月～ 中央主催者（文部科学省・日本パラスポーツ協会）と協議の上、決定

全国障害者スポーツ大会 オープン競技について

1 オープン競技先催県の実施状況

開催年	開催県	種 目（競技数）
2022年(令和4年)	栃木	スポーツウエルネス吹き矢、卓球バレー、車椅子ダンス（3）
2023年(令和5年)	鹿児島	スポーツウエルネス吹き矢、電動車椅子サッカー、ふうせんバレーボール（3）
2024年(令和6年)	佐賀	スポーツウエルネス吹き矢、電動車椅子サッカー、ふうせんバレーボール、ソーシャルフットボール、パラサーフィン、卓球バレー、ウォーキングフットボール、ブラインドテニス（8）
2025年(令和7年)	滋賀	スポーツウエルネス吹き矢、SOバドミントン、ゴールボール（3）
2026年(令和8年)	青森	ブラインドテニス、ファイン・ボール、デフボウリング（3）

2 デモンストレーションスポーツとの違い

種 類	目 的	参加者の 範 囲	行政の 財政負担
オープン競技	全国障害者スポーツ大会において実施 ・県民の障がい者スポーツへの理解促進 ・障がいのあるなしにかかわらず、スポーツを通じた交流の拡大と共生社会づくり	県内及び県外 在住者	なし
デモンストレーションスポーツ	国民スポーツ大会において実施（現在選定中） ・県民がスポーツの持つ楽しさや感動を享受 ・生涯を通じてスポーツに親しむきっかけづくり ・スポーツを通じた元気な長野県づくり	原則 県内在住者	あり※

※業務分担及び経費負担は、「第 82 回国民スポーツ大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針」による。

3 オープン競技の例

スポーツウエルネス吹き矢（身体障がい）

座位、座位片麻痺、立位、立位片麻痺の4部門で行い、1ラウンド（3分以内）に5本の矢を吹き、規定のラウンドの合計点を競います。得点は的の中心から順に、7点、5点、3点、1点となります。

ふうせんバレーボール（身体障がい、知的障がい、精神障がい）

バドミントンコートを使用し、1チーム6人編成で、鈴を2個入れたふうせんを膨らませて競技を行います。障がいのある人とない人がチームを組み、チーム全員がボールに触れ、6回以上10回以内で相手コートに返球します。

卓球バレー（身体障がい、知的障がい、精神障がい）

1チーム6人が卓球台を囲むように全員椅子に座り（車椅子の方はそのまま車椅子使用）、卓球ボールをネットの下に通し、相手コートへ3打以内で打ち返します。